

## PICKUP! ピンポイント講座 SNS講座～INSTAGRAMをまちづくりに活用してみよう～



毎月1回、まちづくりの参考になるピンポイントな講座を行っています。  
8月はSNS講座を開催しました。30日（土）14時から、スワンホールで行われました。パソコンもしくはスマホ持ち込みの実践的講座。SNSを使った広報は、今や市民活動の必須アイテムです。

参加者はシニア層を中心として17名。初心者から経験者まで、様々な方が集まりました。アカウントの作成に苦労する参加者もおられ、スタッフが巡回して一人ひとりフォローしていきました。それからSNSをまちづくりにどう活用するか、具体的な講義に入りました。参加者からは「よくわかった」「これから、どんどんSNSをアップしたい」などの感想もあり、後日市民まちづくりプラザにInstagramの質問に来られた参加者もあり、積極的に市民活動に活用いただけているようでした。

## 広報お手伝いします

カウンターに『まちプラモニター』を設置して、登録団体の情報をアップしています。活動内容、イベント告知、ボランティア募集などなど。発信したい内容について整理し、写真やチラシ等の素材をご用意ください。

また、スワンホールの1階に市民まちづくりプラザ専用のチラシラックがあり、登録団体は無料でご利用いただけます。

スワンホールには様々な世代の方が来られますので、チラシラックやモニターをぜひご活用ください。

さらに、市民まちづくりプラザのSNSで団体の情報を発信することもできます。団体の活動をより多くの方々に知っていただくチャンスになります。

その他、「こんなPRは出来ますか？」など、お気軽にお問合せ下さい。

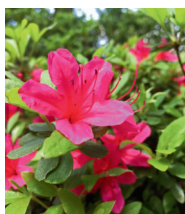


SNSで情報発信中！  
フォローしてね！



Instagram ホームページ X Facebook

## 編集後記



伊丹市の市花  
つつじ

『まちプラびより』も、今回で第2号の発行となりました。

7月から9月にかけては、新しい団体の登録や、『こども起業講座』をはじめ多彩な講座が開催されました。すべてをご紹介できなかったのが残念ですが、それだけ活動が広がっている証だと感じています。

団体や個人の皆さまと交流する中で、市民まちづくりプラザが活動を支える場として少しずつ認識されてきていることを嬉しく思います。

『まちプラびより』は年4回の発行を予定しており、今年度はあと2回。皆さまに楽しんでいただけるよう、スタッフ一同励んでまいります。次号もぜひ楽しみにしてください。

# 2025 9 まちプラびより

VOL.02

動き出したまちプラ号



からふるいたみ☆こどもネットワークの皆さん



## 伊丹市立市民まちづくりプラザ

TEL : 072-780-1234 / MAIL : [icm.puraza@gmail.com](mailto:icm.puraza@gmail.com)

〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 スワンホール 1階

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始

発行人 中山 光子 編集人 平岩 伊佐子



# 登録団体インタビュー

## からふるいたみ☆子どもネットワーク



「伊丹に住む一人ひとりが、それぞれの個性を発揮し、自分らしい人生を送れるような街を目指したい」と語るのは、『からふるいたみ☆子どもネットワーク』（以下、からふる）代表の芝田一也さん。からふるは2022年に設立され、子どもたちの居場所づくり、不登校支援、学習支援といった様々な活動を行う団体が集まり、「このコミュニティを温かくつなげ、伊丹の子どもたちをもっと笑顔にしたい」という思いで結成されました。現在14団体が参加しており、普段は各団体が個別に活動していますが、年に数回、夏まつりや餅つきなどの合同イベントも開催しています。今年の夏まつりは「ことば蔵」の交流フロアで開催され、各団体が趣向を凝らしたブースを出展し、スタッフと参加者を合わせて300名が集まる盛況ぶりでした。



市民まちづくりプラザで、インタビューに答えてくださった、芝田さん（左）、中さん（右）



今年の夏祭りの様子。大盛況！

からふるでは活動をするうえで、『ご縁を大切にすること』をモットーにしています。メンバーそれぞれの色を大切にしながら、お互いに気持ちよく活動ができるよう、情報交換やSNSを使ったコミュニケーションなど、柔軟で幅広いネットワークの構築を心掛けているそうです。今後も、伊丹市内で子どもや子どもを支える大人たちが集う居場所づくりを行っている団体や個人と、さらに多く繋がり交流を深めていきたいとの思いがあります。

現代の子どもたちは、タブレットを使った授業やスマートフォンが当たり前の環境で育っています。情報過多な生活に戸惑っているように見えることもありますが、代表の芝田さんは「子どもの純粋で子どもらしい本質は昔も今も変わらない」と語ります。

「大人が笑顔でいることが、子どもたちの笑顔につながります。子どもに優しい街は、大人にとっても優しい街です。子どもたちが心から楽しめる街は、大人も住みやすい街。伊丹をそのような街にしたいのです」と、芝田さんは熱意を込めて話してくれました。

からふるは、伊丹がより活気にあふれ、誰もが豊かに暮らし、「からふる」に過ごせる街となることを願いながら活動を続けています。活動に関心のある方は、ぜひホームページやSNSをチェックしてみてください。

# NPO法人コラム NPOはボランティア？

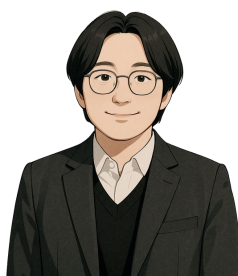
「NPO法人でコミュニティビジネスをやろう！」という、驚いて聞き返されることがあります。「え！NPOって、ボランティアじゃないんですか？」

NPO法人は利益を目的としない非営利の法人格ですが、それをお金を貰ってはいけないという意味だと、誤解されているのです。こういう人は今でも意外と多いです。

実際は『非営利』とは、利益を配当（分配）できないという意味です。だから、商品やサービスの対価としてお金を受け取り、利益をあげることはできます。そのお金で事務所を借り、人を雇用して、活動を広げていきます。また、活動できる範囲も広く、実質的にほとんどすべての分野で活動が可能です。

まだ数は少ないですが、NPO法人で起業するというパターンも増えつつあります。ボランティアはもちろん素晴らしい行為ですが、お金を回していくことで大きな可能性が広がっていくことも知ってもらえたらと思います。

市民まちづくりプラザ  
宮下 隆二



# 『こども起業講座』が初開催されました 子どもたちがハンバーガー店経営を体験

市民まちづくりプラザでは7月31日から8月2日までの3日間、小学生を対象とした『こども起業講座』が初めて開催されました。対象は小学2年生から6年生までで、15人の子どもたちが参加しました。

初日は『ハンバーガー屋さんゲーム』に挑戦。売上や経費を計算しながらお店を運営する体験をしました。大人でも頭を悩ませる内容ですが、子どもたちは持ち前の発想力と好奇心で楽しみながら学んでいました。

2日目は4つのグループに分かれ、自分たちのお店を企画。店名やメニュー、材料費、家賃、ターゲット層まで考え、本格的なお店づくりに取り組みました。

そして3日目はいよいよ開店。紙で作ったハンバーガーを販売し、家族のほかスワンホールや公民館の職員、隣の教室を訪れていた方々もお客さん役に。さらに『手が不自由な人』や『外国の方』といった役づくりをお願いし、街には様々な人がいることを体験できる工夫もあり、学びもありました。子どもたちは柔軟に対応し、中には英語で説明する姿も見られ、子どもたちが起業に関することだけでなく、地域との関わりを学ぶ機会にもなりました。

最初は恥ずかしそうだった子も、最後には元気に「ありがとうございました」と言えるようになっていました。

講座の最後には売上から経費を引き、全グループがなんとか黒字に。子どもたちからは「楽しかった」「お店の大変さが分かった」「また参加したい」「材料費ってこんなにかかるんだ」といった感想が寄せられました。



# ニューフェイス 新規登録いただいた団体をご紹介します 美笑生（みしょうせい）



障がいのある方やご高齢の方が、安心して集える場所を目指して活動しています。社交ダンスや囲碁、音楽やお茶会、料理会など、楽しく参加できる内容が盛りだくさん！移動のお手伝いやウォーキング・マラソンの会もあり、健康づくりや社会とのつながりを大切にしています。

団体や個人の登録は随時受付中！詳細はお気軽にお問合せください

# スリーパンプキン'Zu



障がいのある方との関わり方や、コミュニケーションのコツを楽しく学べる活動を行っています。ひきこもりセミナーやSST講習、視覚・行動援護の講習会、ビジョントレーニングなどを通じて理解を深め、子どもたちと一緒に施設を訪問するなど、地域とのつながりも大切にしています。  
※SST=ソーシャルスキルトレーニング